

課題F「精神・神経疾患の克服を目指す脳科学研究」

1) 研究課題名

「中高年発症うつ病モデルとしてのエンドセリン誘発白質虚血ラットの解析」

2) 所属機関名 / 氏名

東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 臨床神経精神医学講座 脳神経外科学
齊藤 延人

3) 目的

中高年で発症するうつ病において、神経学的には異常は認めないものの、MRI 画像では大脳白質に多発するラクナ梗塞様の慢性虚血性変化を高頻度に認める。大脳白質の慢性虚血性変化とうつ病発症との因果関係を解明する目的で、ラットの大脳白質に虚血による小病巣を作成し、ストレス負荷により、行動学的評価としてのうつ状態を示すかどうかを検討する。

うつ症状を呈するラットを用いて臨床バイオマーカー候補分子の発現異常の有無を検討するとともに、マイクロアレーと定量的 PCR で網羅的に解析し、中高年発症うつ病のストレス脆弱性と病態に関連するバイオマーカーを同定する。

4) 概要

- ・中高年発症うつ病ラットモデルの作成と行動学的評価を行う。
- ・中高年発症うつ病のストレス脆弱性と病態に関連するバイオマーカーをモデル動物で同定する。
- ・抗うつ薬の反復投与の効果をモデル動物で評価する。
- ・中高年発症うつ病の発症メカニズムをモデル動物を用いて解明する。

5) 実施体制

